



大陸移動説って何、どうして大陸は動くの

大陸は少しずつ動いている

大陸移動説は、1912年、ドイツの気象学者のウェゲナーが発表した説です。

ウェゲナーは、アフリカと南アメリカの海岸線を合わせると、ぴたりと合うことから、この大陸は、もとは一つだと考えました。その後の研究で、今あるほかの大陸も、一つの大陸だったのではないかと考えつきました。

始めは一つだった大陸が、いくつかに分かれて長い間に少しずつ移動して、今のような大陸になった、という考えを大陸移動説といいます。

この大陸移動説が、発表された当時は、この説を信じる人は、あまりいませんでした。しかし、その後、次々に新しい証拠が発見されて、大陸が移動していることが、事実になったのです。

プレートが動くので、大陸が動く

地球の表面は、厚さが70～100キロメートルぐらいの、十数枚のプレートという、岩板でしきつめられている、と考えられています。

大陸が動くのは、大陸がのっているプレートが動くので、大陸もいっしょに動いていると考えられています。プレートが動く理由は、プレートの下にあるマントルが、ゆっくりと、対流（水などが温まるときのような動き）のために、動いているのではないかと考えられています。（監修・国司 真）

